

# ロシア語学専攻

## Russian Studies



入学者はロシア語学およびロシア文学のいずれかを専門領域とし、その領域の範囲の中で研究テーマを決定します。ロシア語を使った議論の進め方に親しんでおくとともに、ロシア語の学术论文の文体に習熟しておく必要があります。

Students will choose either the Russian language or Russian literature as their specific area of expertise and decide their research topic within that area. Students also need to become familiar with the processes of research development, using Russian to acquire proficiency in the writing of academic papers.



### 研究指導担当教員 Faculty

金子 百合子 (かねこ ゆりこ) Yuriko KANEKO  
●教授/Professor

主に現代ロシア語の aspekto として、以下の課題に取り組んでいる。(1) 文法 aspekto と動詞語彙意味や接辞派生による語形成意味との関係性、aspekto と隣接する諸分野(テンス・モダリティ他)との相関性、テクスト構成上の役割といった側面から、aspekto の機能意味分野を体系化すること、(2) 対照言語学的視点から、ロシア語と日本語の aspekto 表現における多様な個別言語的特徴を関連づけて体系化すること。

Modern Russian grammar, Aspectology, Word-formation, Contrastive linguistics

Elena BAIBIKOVA (エレナ・バイビコワ)  
●准教授/Associate Professor

主な研究分野は翻訳研究である。ロシア社会・文化・文学を論題とし、翻訳の社会的文化的な諸相を見つめ、研究を進める。文化的な活動としての翻訳、翻訳者のアイデンティティ、翻訳と異文化コミュニケーションなどのテーマを対象にリサーチする。

Translation studies, Translator studies, social and cultural aspects of translation, Russian literature in translation

**北見 諭** (きたみ さとし) Satoshi KITAMI  
●教授/Professor

ロシア文化史、ロシア思想史専攻  
とりわけ、19世紀末から20世紀初頭にかけて哲学、文学、芸術、社会思想など、幅広い分野で生じた「ロシア文化ルネサンス」、「ロシア宗教ルネサンス」と呼ばれるロシア精神史上の重大な転換点を対象に研究を行っている。その目的は、この時代のロシアの知識人に特有の思考様式を明らかにすること、そうした思考様式が成立するうえで、何がその背後にあったのかを明らかにすることである。

Russian Culture, Russian Philosophy

**清水 俊行** (しみず としゆき) Toshiyuki SHIMIZU  
●教授/Professor

ロシア正教思想史および精神史の文脈から、ロシアにおける聖師父文献の翻訳出版活動や修道院と世俗文学との交流を跡づけ、ロシア文化の霊性の発展を探ろうとする。

Eastern Christianity and Russian Literature

**藤原 潤子** (ふじわら じゆんこ) Junko FUJIWARA  
●准教授/Associate Professor

文化人類学的手法でロシア文化研究を行っている。主なフィールドは、ヨーロッパ・ロシア北部と東シベリア。現代ロシアの宗教状況、シベリアのロシア人社会、気候変動の地域社会への影響などについて調査を行っている。

Cultural anthropology, Russian culture

**最近の修士論文等のテーマ Recent Master's Thesis Subjects**

- ・ Опыт реинтерпретации глаголов перемещения в современном русском языке.
- ・ Строительство литературы на белорусском языке - проблемы и факторы развития.
- ・ 雪解け期における社会現象としてのプラート・オクジャワ
- ・ Нижинский и его роль в русском балете
- ・ Проблемы перевода эссеистики Комментированный русский перевод отрывков из сборника эссе Мари Ёнэхары «Если верны, то некрасивы, если красивы - неверны»
- ・ 喜劇『コリオーン』についての一考察
- ・ 『査察官』研究—僭称の歴史とそのアイロニー—

院生紹介  
Message from a Student

-なぜ神戸市外国語大学の大学院を選んだのですか。

私の研究テーマは学士の時と同じ「児童文学の翻訳」で、卒業論文の研究で時間や分量の関係で研究できなかった、もしくは論文に書ききれなかったことが研究対象にあったのでそれらの残ったものを論文の形で発表したいと考えたからです。翻訳を研究できる大学はほかにもありますが、今までの研究を続けるのであれば、通いなれた大学、そして在籍しているゼミで研究を続けるほうが余計なストレスがかからず最適だと考えたからです。

-どのような学生生活を過ごしていますか。

一年生で必要な単位のほとんどを取り終えていて、今授業はゼミを含めて週に三コマあります。平日の授業以外の空いた時間は大学の図書館で文献を読んでいます。休日はアルバイトや友達と遊びに出かけたり、卒業後は海外の大学院で博士号を取得しようと考えているので、海外の大学院、教授について調べたりしています。

-修士課程進学を考えている方にメッセージをお願いします。

人によるかもしれませんが、修士課程ではロシア

語の勉強ではなく、ロシア語を用いた研究をするのでロシア語力は本当に必要です。早いうちからロシア語の論文に慣れ親しんだりできるだけ語彙を増やしたほうがいいと思います。また、会話や作文までいなくても、論文が読めるレベルでいいので様々な言語を知っておくと研究の幅が広がり、修士課程以降の道が広げやすくなると思います。



久保 葵 (2年)  
Aoi KUBO